

水産物の市況について(平成27年11月及び12月)

—東京都中央卸売市場における平成27年11月(平成27年10月21日～11月20日集計)の市況と、
平成27年12月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成27年11月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)はやや増加となり、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は前月と比べやや強含みに推移しました。

II 平成27年12月の主要品目の市況見通し

- 「まいわし(生鮮品)」
入荷量は前月から引き続き、低水準で横ばいと見込まれ、卸売価格は入荷量が少ない状況が続いたことからやや強含みに推移すると見込まれます。
- 「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」
入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれるものの、年末年始に向かい品質の良い物の取引が増えることから、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。
- 「さば(生鮮品)」
入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。(主漁場は犬吠埼周辺)
- 「するめいか(生鮮品・冷凍品)」
入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。
- 「あじ(生鮮品)」
入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。
- 「まぐろ(冷凍品)」
年末年始の最需要期を迎えることから、入荷量は前月と比べ増加すると見込まれるものの、卸売価格は良品はやや強含み、並品は横ばいに推移すると見込まれます。
- 「さんま(生鮮品)」
終漁に向かい、入荷量は前月と比べ大幅に減少すると見込まれるものの、需要期も過ぎたことから卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	11月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
27年	41	1,030	38	997	39	1,001
前年	43	971	44	916	44	933

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	<u>東京都中央卸売市場卸売価格(概数)</u>			
	11月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	599	139	114	108
さけ・ます(平均)	847	98	95	123
(ぎんざけ塩蔵品)	869	100	93	125
(あきさけ塩蔵品)	758	100	104	129
(ときさけ塩蔵品)	1,064	100	112	120
(べにざけ塩蔵品)	1,083	100	92	108
(さけ類冷凍品)	824	100	96	130
さば(生鮮品)	470	83	101	100
するめいか(平均)	485	92	110	121
(生鮮品)	483	89	110	121
(冷凍品)	491	100	111	122
あじ(生鮮品)	477	95	84	93
まぐろ(冷凍品)	1,448	98	102	105
(めばち冷凍品)	1,105	106	103	108
(きはだ冷凍品)	1,297	136	124	127
(くろまぐろ冷凍品)	3,795	100	93	103
(みなみまぐろ冷凍品)	2,127	109	103	100
さんま(生鮮品)	380	82	123	116

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:11月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成22年～26年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 大橋、原、安井

直通 03-3591-5612